

2022年第9回パラフットボール体験会記録（デフサッカー）

静岡デフキッズフットボールコミュニティを迎えて

- 1 日 時 2022年11月5日（土）14時30分～16時30分
 - 2 場 所 エスパルスドリームフィールド清水
 - 3 参加人数 32人
 - 4 主 催 NPO 法人静岡 FID サッカー連盟、一般社団法人ユース
 - 5 協 賛 株式会社 RST、株式会社 TRW、株式会社 エス・プランナー、株式会社 ランドトラスト
明和住宅株式会社、株式会社 アレミティ、株式会社 ライフプラス
 - 6 協 力 エスパルス、エスパルス福祉基金
- #### 4 内 容

デフキッズへの対応研修

- ・アイスブレイク 静岡デフキッズフットボールコミュニティの説明と接し方
- ・デフキッズとともに
リズムフィットトレーニング、サーキット、
ボールフィーリング、1対1、2対2、
ミニゲーム

- ・日本代表選手の話、デフサッカーに関する体験
デフとは？

デフで生活すること

デフサッカーとは？

伝言ゲーム

簡単な手話（色、数字）

よく見て、判断



【体験の感想】抜粋

子どもたちは、とても元気で、耳が聞こえずらい中でも楽しそうにやっていいなあと思いました。
ヘッドフォンをすることで、ほとんど何も聞こえず戸惑った。選手たちは厳しい中でやっていることがわかった。

難聴には、大きく3種類の聞こえ方があり、補聴器を付けても必ずしも聞き取れるものでないことを知った。聞こえる人、聞こえない人と同じように接することが大事だと思った。

耳栓を付けるときにちょっと怖かったです。小さい子と接して、その怖さに勝って生活してるんだと思った。

耳が聞こえないだけでこんなにも「伝えることの難しさ」「伝わりにくさ」を感じました。色の手話では、動物に例えた黄色や、唇の色の赤など身近なものでできていると思った。「デフサッカー」の楽しさだったり、面白さだったり皆に伝えていきたい。

色や数字の手話を覚えることができた。もっと調べて覚えたいと思った。聴覚障がいへの知合いができたなら積極的に会話したいなと思った。

音が聞こえないため周りをしっかり見るのが大切。コミュニケーションをとる方法は、口語だけに限らず、色々な方法がある。